学校番号	3022

令和２年度　英語科

教科	(専門)英語	科目	英語表現	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	EMPOWER English Expression II　Mastery Course　(桐原書店)						
副教材等	英文法・語法問題 GRAMMARMASTER 改訂第２版　(Z 会) デュアルスコープ総合英語　新訂版　(数研出版)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年次に学習した言語材料を使用して、場面や目的に応じた表現ができることを目指す。教科書の各課の目標を達成できるように、副教材を活用しながら不足している知識や技能を補うとともに、特に話すこと、書くことにおいて、質・量ともに１年次からの向上をはかる。

2　学習の到達目標

【話すこと】
- 簡単な語や表現を使って、互いの意見交換（賛成か反対か、どう思っているかなど）をすることができる。
- 自分のことや身の回りのことについて簡単な紹介や説明を求められても、即興で適切に応答することができる。

【書くこと】
- 身近な話題に関して説明をし、自分の意見を、つなぎ語やフレーズを活用して、まとまりのある段落をいくつか書くことができる。(400 語程度)
- 身近な話題に関して読んだり聞いたりした内容の要点を文章で書くことができる。
- 旅行などの自分の行動について、物事の順を追って筋道立てて書くことができる。

【聞くこと】
- 自然な速さで話される観光地での説明やガイドなどのアナウンスを聞いて、大切なポイントをもらさず概要を把握することができる。
- はっきりと話されれば､身近なトピックについての短いニュースの要点を聞き取ることができる。

【読むこと】
- 難しい部分を読み返すなどしながら、よく知っている分野の説明書や記事などを詳しく理解することができる。(80WPM)
- さまざまな分野のまとまった英文を読み、全体の筋を理解し、それに関する知識を得ることができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	コミュニケーションへの関心･意欲･態度	英語表現の能力	英語理解の能力	言語や文化についての知識理解
評価方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DOリストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DOリストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		

1	自己紹介 旅行 行楽 高齢社会 料理 学校生活 学校行事 ホームステイ 観光 将来の夢	自分について語る 日記を書く 自分の体験をブログに書く ニュースの感想を述べる SNS に投稿する 新聞記事を書く 告知文を書く 問い合わせの手紙を書く 名所を紹介する メールを書く	○	○	○	○	a: ・間違うことを恐れずに，対話をしている． ・うまく言えないことがあっても，別の語句や表現を使って言い換えたりするなどして，対話を継続しようとしている． ・あいづちを打ったり質問をするなどして，相手の話を関心を持って聞いている． ・間違うことを恐れずに書こうとしている． ・必要に応じて辞書などを活用している． ・うまく書けないことがあっても，別の語句や表現を使って言い換えたりするなどして，継続して書こうとしている． b: ・文法にしたがって正確な英語で表現することができる． ・正しいリズムやイントネーションで話すことができる． ・相手に質問したり，相手の質問に答えたりすることができる． ・相手の発話に対して適切に応答することができる． ・文法にしたがって正確に書くことができる． ・与えられた話題について，具体例や補足説明などを加えながら，まとまった内容の英文を書くことができる． c: 英文の内容について質問して，正確に答えることができるかどうかを評価する． d: 各文法事項の用法を理解し，適切に使うことができる	a: 観察 課題 b: 観察 課題 定期考査 c: 観察 定期考査 d: 観察 課題 定期考査

2	統計 グリーティングカード 本・漫画・映画の紹介 地域の紹介 思い出の言葉 デジタル・コミュニケーション グローバリゼーション 地域の名産・名所 クラブ活動	グラフを読み取って書く グリーティングカードを書く 作品の紹介文を書く 地域の紹介文を書く 思い出深い体験を書く 新聞に投書する 自分の意見を書く 広告文を書く ウェブサイトの記事を書く	○	○	○	○	a: ・間違うことを恐れずに，対話をしている． ・うまく言えないことがあっても，別の語句や表現を使って言い換えたりするなどして，対話を継続しようとしている． ・あいづちを打ったり質問をするなどして，相手の話を関心を持って聞いている． ・間違うことを恐れずに書こうとしている． ・必要に応じて辞書などを活用している． ・うまく書けないことがあっても，別の語句や表現を使って言い換えたりするなどして，継続して書こうとしている． b: ・文法にしたがって正確な英語で表現することができる． ・正しいリズムやイントネーションで話すことができる． ・相手に質問したり，相手の質問に答えたりすることができる． ・相手の発話に対して適切に応答することができる． ・文法にしたがって正確に書くことができる． ・与えられた話題について，具体例や補足説明などを加えながら，まとまった内容の英文を書くことができる． c: 英文の内容について質問して，正確に答えることができるかどうかを評価する． d: 各文法事項の用法を理解し，適切に使うことができる	a: 観察 課題 b: 観察 課題 定期考査 c: 観察 定期考査 d: 観察 課題 定期考査

3	留学 歴史 メディア 国の比較 留学 ごみ問題	アドバイスを求めるメールを書く 「時間の順序」を示すパラグラフを書く 「分類」を示すパラグラフを書く 「比較・対照」を示すパラグラフを書く 「原因(理由)・結果」を示すパラグラフを書く 「意見・主張」を述べるパラグラフを書く	○	○	○	○	a: ・間違うことを恐れずに，うまく書けないことがあっても別の語句や表現を使って続けて書こうとしている． ・必要に応じて辞書などを活用している． ・内容・構成などに注意を払って，何度か書き直そうとしている． b: ・パラグラフの冒頭に，パラグラフの中心となるアイデアを示す適切なトピックセンテンスが書かれている． ・支持文で，日時や時点を表す表現を効果的に使いながら，時間の流れに沿って，女子サッカー日本代表チームの足跡［自分が興味のある人物の人生］が説明されている． ・「時間の順序」を示す表現やつなぎ言葉を効果的に使って，一貫した内容のパラグラフになっている． ・パラグラフの内容をまとめる文として，適切な結びの文が書かれている． c: 英文の内容について質問して，正確に答えることができるかどうかを評価する． d: 各文法事項の用法を理解し，適切に使うことができる	a: 観察 課題 b: 観察 課題 定期考査 c: 観察 定期考査 d: 観察 課題 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。